

令和7年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※提出された申請書の内容は、個人情報を除いて公開する場合がありますので、ご了承ください。

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	スタート部門
------	--------

※プルダウンから選んでください

【1】事前相談

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談 ※スタート部門は必須、一般・団体連携部門は任意です

コーディネーター名	中田チーフコーディネーター
事前相談日	3月11日

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※スタート部門は任意、一般・団体連携部門は必須です

協働希望課名	危機管理課
事前相談日	4月8日

※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件

該当する部門の応募要件の太枠内に、○を記載してください。(プルダウンになっています)

団体要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	○
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	○
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	
一般部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去3回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	異なる複数の団体による連携提案である。(申請者・団体概要をそれぞれ記入要)	
事業要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
全部門共通	翌年3月31日までに事業を完了できる。	○
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。(昨年度採択されている事業で、新しい工夫・発展性が見受けられる場合は除く)	

設立年月日（西暦）	2024年 11月 1日 （設立 1 年目）
団体概要	※記入しきれない場合、別に資料（団体パンフレット、HP等）を併せて提出してください。
（1）設立の目的	①災害医療に関する知識・技術の向上に関する研修を通して職種・職場を超えたつながりを築き実災害に備える。②その学びを参加者が事業所に持ち帰りBCP(自然災害やシステム障害などの緊急事態発生時に、事業を継続し、損害を最小限に抑えるための計画)策定に繋げ、それぞれの事業所を中心とした地域防災に貢献する取り組みへの支援を行う。以上の2点を目的としています。
※設立のきっかけや現在に至る経緯等	
（2）今後の目指していきたいこと	能登半島地震に於けるJMAT（日本医師会が組織する災害医療チーム）活動の教訓から、町のクリニックや薬局、福祉施設等で働く人々の災害医療に関する知識や準備の不足を実感しました。この経験をもとに保健・医療・福祉に携わる人々が災害医療について学び多職種間での繋がりを広げることが、その事業所が在る地域全体への「より良い支援」に繋がると考え研修会を開催しています。この災害医療分野の研修会での学びを、専門性を活かした地域向け防災イベントとして還元することと、その取り組みを希望する個人、事業所への支援を行うことを目指し活動を計画しています。
※団体ビジョンや団体ミッション等、将来達成したい理想の状態や目標、団体が果たすべき存在意義等	<p>【メンバーの職種】</p> <p>医師、看護師、薬剤師、ケアマネージャー、事務</p> <p>【メンバーが参加している災害医療に関する学会・研修の一例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本災害医学会 ・厚生労働省委託事業 在宅医療版BCP策定支援研修 ・日本災害医療ロジスティクス研修会（岩手医科大） ・日本災害医学会コーディネーションサポートチーム研修 ・石川県DWAT登録者研修 ・石川県災害薬事コーディネーター研修 ・新潟大学医学部災害医療教育センター災害医療ロジスティクス専門家コース（履修中）
活動概要	以下に記入してください。
（1）主な活動履歴	<p>2025年1月21日 第1回研修会開催</p> <p>2025年5月22日 第2回パート1（講義：オンライン開催のみ）研修会開催予定（講師依頼済）</p> <p>2025年6月29日 第2回パート2（ワークショップ：現地開催）研修会開催予定（講師依頼済）</p> <p>会場確保済み、協賛KDDIソリューション（スターリンク実演確約済）</p>
（2）得意分野・活躍できること	<p>【私達の強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーそれぞれの専門性を活かした防災啓発活動を行うことができる ・これまでの活動や研修参加で得た災害医療の専門家との繋がりを活かした学びを提供できる ・構成員が外部研修等に参加して知識や情報を常にアップデートしている ・災害医療分野では既に第1回研修会を実施しており（参加者85名超）企画の実現力が高い（添付資料を参照ください）
※専門的知見、連携先、アピールポイント等	
HP,SNSのURL	準備中

※団体連携部門の場合、当該「【3】申請者・団体概要」は連携先団体の分も必要であるため、シートをコピーし、シート名を「団体連携先」として記載願います。その場合、記載が必要な部分は「【3】申請者・団体概要」部分のみです。

【4】 企画内容

提案事業のテーマ	<p>金沢市未来共創計画の5つの基本方針の中から、該当するテーマを選んでください。</p> <p>【参考】未来共創計画の一覧はこちら↓</p> <p>未来共創計画 基本方針一覧</p>
テーマ（プルダウン）	小テーマ（左セルでテーマを選ぶと、選択肢をプルダウンから選ぶことができます）
基本方針2_暮らしづくり	(2) 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現
※テーマが複数に渡る場合、副次的なテーマを以下から選択してください。	
基本方針2_暮らしづくり	(3) 心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進
基本方針5_都市づくり	(5) 災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践
協働を希望する課名	危機管理課
企画のタイトル	防災BOXを作ってみよう！～何を入れる？「私の防災」を考える～
事業の概要	※①～③の流れに沿って、具体的に記載してください。
①現状の地域課題	<p>【課題1】</p> <p>金沢市未来共創計画基本方針5施策方針5のKPIから災害時には地域の繋がりが重要となりますが、昨今は様々な事情から近隣住民間でコミュニケーションを取ることが難しくなっていることが課題と考えます。</p> <p>【課題2】</p> <p>地域住民の中には潜在的な避難時要支援者が存在すると考え、そのリスト化も課題と考えます。（部分的な支援が必要な方）を把握することが必要と考えます。</p>
②ねらい・コンセプト	<p>【アプローチする方向性】</p> <p>防災BOXに何を入れるかを考えることを通して、自分が被災した場面を具体的に想像し家族や友人と話し合う機会を生み出し、防災意識の向上へとつなげる。更に、防災BOXを持ち寄り披露し合い、他の参加者の内容を見ることで、自分には無かった着眼点を発見できる。また、参加者同士のコミュニケーションが生まれ、これまで交流のなかった地域住民間の交流を図る。</p> <p>【工夫する点】</p> <p>参加者数はスタッフ1名につき5名程度までとして、確実に全員とコミュニケーションをとることを目指します。</p> <p>【共同する意義】</p> <p>イベントでの会話を通してキャッチした要支援者情報を町会を通して担当課へ繋げることができると考えます。</p> <p>【市民のメリット】</p> <p>医療機関や薬局、施設がこのイベントを行うことで、顔の見える関係性を作ることができ、このことは発災時の何らかの医療等の支援にとどまらず、その関係性が地域の方々の心の拠り所ともなり得ると考えています。</p>
<p>(①で記載した課題解決のために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプローチする方向性 ・工夫する点 ・協働する意義 ・市民が共感できる点 等) 	

<p>③実施内容案</p> <p>年間事業スケジュール案について、必要があれば使用してください↓</p> <p>事業スケジュールひな形</p>	<p>【実施予定時期】第1回：2025年8月</p> <p>【対象者（ターゲット）】西泉地区の住民（年齢は問わず）</p> <p>【予定場所】西泉地区の公民館または、（医）KaNaDe施設内スペース</p> <p>【実施内容】300円程度のBOXを事前に購入してもらう。家庭に持ち帰り、家族や友人とBOXに入れるものを相談し購入、BOXに詰めてもらう。イベント当日にそれぞれのBOXを持ち寄り、お互いにBOXの内容となぜそれを選んだかを発表する。次に他の参加者のBOXを見ての感想を話し合う。</p> <p>【広報・周知の方法】チラシを作成し町会の回覧に載せる。第一回の場合は中心医療機関やまと@ホームクリニックのホームページ、SNSに載せる。災害医療部門の過去の参加者へメールで周知する（参加者の中から希望者を募り第1回をモデルとして2回目以降を開催するため）</p> <p>【年間事業スケジュール案】</p> <p>第2回：10月頃、金沢学生のまち市民交流館 交流ホール</p> <p>第3回：2026年3月頃、金沢未来のまち創造館</p>																																																												
	<p>年間スケジュール案</p> <table border="1" data-bbox="443 698 1481 996"> <thead> <tr> <th>事業内容・準備</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>会場確保 チラシ準備</td> <td>告知開始</td> <td></td> <td>イベント実施 まとめ作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>会場確保 チラシ準備</td> <td>告知開始</td> <td></td> <td>イベント実施 まとめ作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>会場確保 チラシ準備</td> <td>告知開始</td> <td></td> <td>イベント実施 まとめ作成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>活動のまとめ 作成/振り返り と来年の計画 作成</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容・準備	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	第1回	会場確保 チラシ準備	告知開始		イベント実施 まとめ作成								第2回				会場確保 チラシ準備	告知開始		イベント実施 まとめ作成					第3回								会場確保 チラシ準備	告知開始		イベント実施 まとめ作成												活動のまとめ 作成/振り返り と来年の計画 作成
事業内容・準備	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																		
第1回	会場確保 チラシ準備	告知開始		イベント実施 まとめ作成																																																									
第2回				会場確保 チラシ準備	告知開始		イベント実施 まとめ作成																																																						
第3回								会場確保 チラシ準備	告知開始		イベント実施 まとめ作成																																																		
											活動のまとめ 作成/振り返り と来年の計画 作成																																																		
<p>事業効果</p>	<p>※金沢市における効果や、事業の対象者が具体的にどうなるか等、記載してください。</p>																																																												
<p>期待できる事業効果</p> <p>(広く市民が共感できるか、他団体や行政・企業とのつながり、協働の効果がみえるか 等)</p>	<p>今年度はイベント運営や参加者とのコミュニケーションスキルのノウハウ蓄積を図ります。災害医療分野の研修会参加者から希望を募り、他の施設や地域で同様のイベント開催を計画、または開催の支援を行うことでこの企画を広げていこうと考えています。その交流の中で、その地域にあるクリニックや薬局、施設スタッフと地域住民の方の顔の見える関係性構築を目指します。そのことにより、その事業所が保健・医療福祉の面だけではなく、災害時の精神的な拠り所となることを最終目的としたいと考えています。</p> <p>また、当会の強みである各分野の専門家目線での情報収集により得られた情報を町会や市の担当部署と共有することにより市の防災事業（避難時要支援者リスト作成等）に寄与できると考えています。</p> <p>更に、主催者側も開催ごとに防災に関する学びを深め「出張防災教室」等の市が企画するイベントへの協力を目指していきます。</p>																																																												

その他 特記事項

(今回応募した動機・熱意、
本事業を通して何を得たいか
等)

【動機と熱意】

能登半島地震以前は、災害はどこか人ごとであったことを痛感しその反省から、自分たちにできることを草の根的に実行しようとする保健・医療・福祉従事者が災害医療部門の研修会に参加しています。今回の企画を通し防災についても意欲のある有志を参加者の中から募り、メンバーを増やし活動範囲を広げようと考えています。能登半島地震の記憶が人々の心の中にある間に、小さくても不完全でも行動を起こすことが大切と考え応募しました。石川災害医療研修会は、「企画側も参加者も実行しながら共に学んでいく」ことをモットーとしています。このモットーをベースにして企画に取り組み、未来への足掛かりを作るチャンスをいただきたいと考えています。

【今後の展望】

今年度は、確実に実現可能と考える企画を行い、今回の企画から得たノウハウに私達の専門性をプラスして、将来的には緊急カプセル（お薬情報やアレルギー情報を入れたカプセル。地域でカプセルの存在を共有することで、何らかの原因でこれらの情報を自身が医療者に伝えられない場合に活用される）作りに取り組みたいと考えています。個人情報に関する情報の取り扱いなど、クリアすべき課題が山積する難しい事業ですが、一方でこれこそが、行政と私達保健・医療・福祉の専門職の「協働」が活かされる活動であると考えます。その際には今回協働をお願いしている危機管理課に加え福祉政策課との協働が実現すれば実現への可能性が高まると考えています。